

「察する力」

愛知県立春日井高等特別支援学校 三年

江口 諒

僕は、一週間スポーツショップに現場実習に行きました。実習に行く前に、いろんな人と会話するという目標を立てました。その目標は、お客様や職場の方と、多く話すことができたので、達成することができました。任された仕事は、服などのハンガーかけや品出し、在庫管理などです。

会社に行くときは、ミスをしない、また注意されないように行動しようと思いました。注意されたことはなかったですが、大変だったことはありません。機械を使用した仕事です。僕は、工程がいくつもあると覚えることが苦手です。その時に職場の方にアドバイスをもらいました。

「自分の中でパターンを一つ一つ思い出すといひよ。」
と言ってもらい、そこから作業が効率良くできるようになりました。

一週間で学んだことは、お客様が何を求めているのかや、何を探しているのかを、聞いたり考えたりするといひ、察する力です。この実習の中で、接客することがありました。その時に、

「動ける服とかあるの？」
と聞かれ、僕は、

「普段着用ですか。お探しの色とかありますか？」
などと聞いているうちに、お客様が何を探して何を求めているかを考えられるようになりました。実習が終わったときはとても達成感がありました。また、この会社で働きたいとも思いました。卒業後の社会自立に向けて、たくさんの人と会話をし、初めて会う人に声が小さくならず、友達と話す大ききさで接したいです。そのために、学校などで人を選ばず誰とでも普通に会話できるようにしていきたいと思ひます。